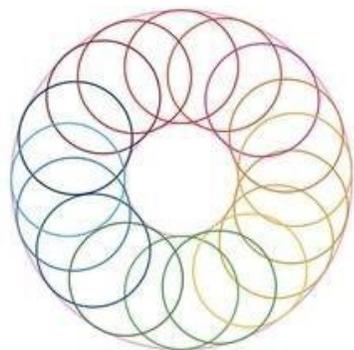


長野県っていいところ

信州大学
繊維学部1年
黒滝英基

はじめに ～プロフィール～

- ▶ 2002. 4. 7. 生まれ
- ▶ 長野県上田市出身、現在は松本市在住
- ▶ 2021年3月 長野県上田染谷丘高等学校卒業
- ▶ 現在 信州大学繊維学部在籍中
- ▶ 長野県のこと大好き
- ▶ 大学では主に地域貢献を行うサークルに所属



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

雷鳥サークルは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



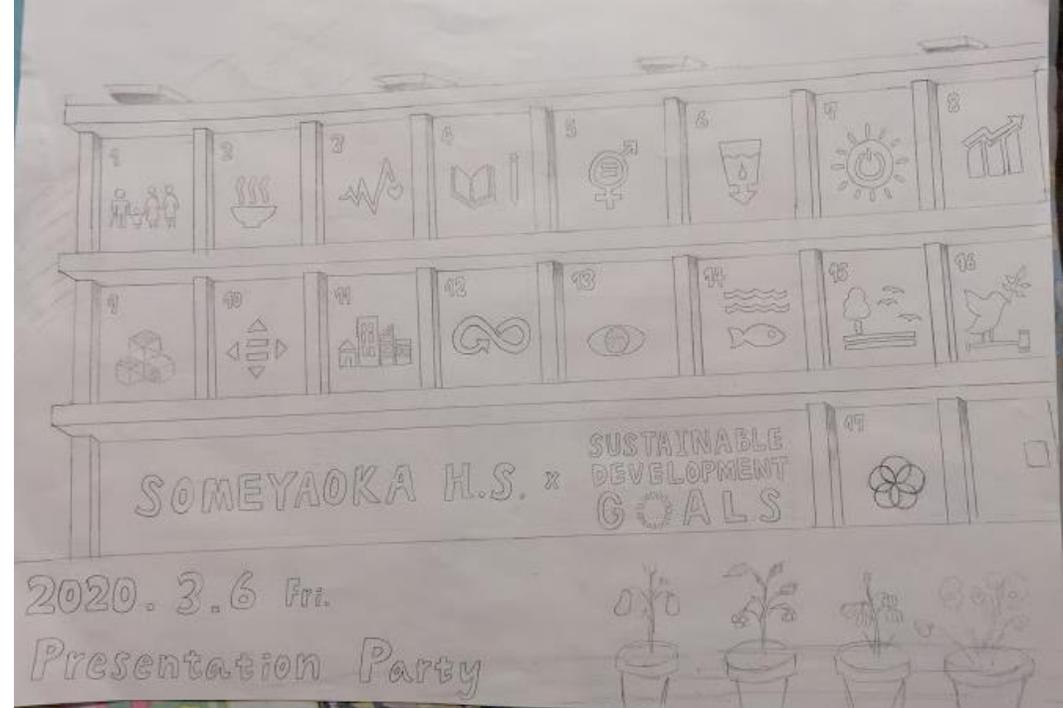
- ▲ 善光寺(長野市)
- 松本城(松本市) ▶
- ▼ 上田城(上田市)



プレゼンテーションを作った動機

- ▶ 長野県をさらに全国に布教していきたい！
→ そのためには、さらなる長野県の発展が必要。
- ▶ では、発展させるためにどのように行動していくか？
→ 長野県が現在抱える課題をSDGsの手法を借りて発見し、地域や企業とともに行動することで、これからの長野県を変えていこう！
- ▶ そして、長野県を変えることができれば、いずれは日本を変えることができ、いずれは世界を変えることだって夢ではない！
- ▶ そのための教育（ESD,後述）も行っていき、SDGsを通して将来を変えることのできる人材の育成の重要さも伝えていきたい。

高校時代にSDGsについて学習した
際に作ったポスターのようなもの



そもそもSDGsとは？

SDGsとは

- ▶ Sustainable Development Goals（持続可能な開発）の略称。
- ▶ 持続可能な開発のために国連が定める国際目標で、17の世界的目標、169の達成基準、232の指標がある。
- ▶ 貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけている。



17の世界的目標

- ▶ 1. 貧困をなくそう
- ▶ 2. 飢餓をゼロに
- ▶ 3. すべての人に健康と福祉を
- ▶ 4. 質の高い教育をみんなに
- ▶ 5. ジェンダー平等を実現しよう
- ▶ 6. 安全な水とトイレを世界中に
- ▶ 7. エネルギーをクリーンに
そしてクリーンに
- ▶ 8. 働きがいも 経済成長も
- ▶ 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ▶ 10. 人や国の不平等をなくそう
- ▶ 11. 住み続けられるまちづくりを
- ▶ 12. つくる責任 つかう責任
- ▶ 13. 気候変動に具体的な対策を
- ▶ 14. 海の豊かさを守ろう
- ▶ 15. 陸の豊かさも守ろう
- ▶ 16. 平和と公正をすべての人に
- ▶ 17. パートナーシップで
目標を達成しよう



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT**

GOALS

まずは世界ではなく、長野で！

- ▶ SDGsは世界規模で起こっているあらゆる問題に対処していこうというものだが、世界よりも日本、日本よりも長野でまず実行していくべきでは？
- ▶ まずは我々が住む長野県にSDGsを浸透させ、日本の中でお手本の県になろう
- ▶ 長野県は2018年に全県が「SDGs未来都市」として認定された。
- ▶ 全県レベルで住民が一丸となって取り組めるように浸透させよう。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT  GOALS

世界を変えるための17の目標

〔 **長野県**は「**SDGs未来都市**」です 〕

関わるSDGsの要素

No.8

働きがいも経済成長も

▶ 目標：

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

▶ 長野県では：

多様な主体が協働しながら地域の課題解決に自ら取り組み、県全体の魅力を高めている「自治の力みなぎる県」

例) 県の観光地を売り出して、県外からの観光客や移住者を増やし、経済の成長を図る。



No.9

産業と技術革新の基盤をつくろう

▶ 目標：

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進とともに、技術革新の拡大を図る

▶ 長野県では：

時代や環境の変化に柔軟に対応する足腰の強い産業が持続的に発展し、地域の活力を生み出し、県民の生活を支えている「産業の生産性が高い県」

例) 地域の伝統産業を途絶えさせることなく、若い世代によってにもう一度振興させる。



No.11

住み続けられるまちづくりを

▶ 目標：

都市と人間の居住地域を包摂的、安全、強靱（レジリエント）かつ持続可能にする

▶ 長野県では：

豊かな自然・文化と利便性を併せ持つ質の高い生活を送り、国内外と活発に交流しながら人生を楽しむことができる「人をひきつける快適な県」

例) 人と人とのつながりを大切にし、困ったときには助け合える人間関係、コミュニティの形成。



長野県ではほかにも...

- ▶ 子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している「学びの県」
- ▶ 自らの健康と豊かな自然環境を守り、安心できる暮らしを次世代に継承している「いのちを守り育む県」
- ▶ 誰もが等しく社会からその存在と役割を認められ、自らの可能性に挑戦し、自分らしく生きている「誰にでも居場所と出番がある県」

などを概ね2030年までに達成することを目標に掲げている。

- ▶ いずれもこれからの長野県にとって重要な内容である。

菅平高原(上田市、須坂市) ▶



よりよい長野に。



車山高原(茅野市、諏訪市) ▶

課題の発見をしよう

▶ 私は、現在長野県が抱える課題を、元来の目的「長野県の魅力を全国に」を踏まえ、マンダラチャートを用いて考えた。

▶ マンダラチャートとは...

1つの大きな目標を立て、その目標を達成するために必要な要素を8つ挙げ、それらに対してさらに8つのアプローチ方法を考える。

▶ 小さなこと(身の回りのこと)から徐々に大きなことへと活動を移行していく。

→これによって、達成へのルートや行うべき課題が可視化され、

目標を確実に実現できる！

マンダラチャートの例

読み	書き	数学	概念化	ロジカルシンキング	発想法	巻き込み力	セルフマネジメント	メンタル
報道相	基礎スキル	英語	鳥の目・虫の目	コンセプチュアルスキル	汎化と特化	リーダーシップ	ヒューマンスキル	関心の輪・影響の輪
ビジネスマナー	会計	パソコン	必要なタイミングは？	トップマネジメント	本質を見る	交渉	傾聴	信頼
タイムマネジメント	人材育成	リスク管理	基礎スキル	コンセプチュアルスキル	ヒューマンスキル	MBA	ITスキル	営業・販売
問題解決	マネジメント	目標設定	マネジメント	ビジネススキル	テクニカルスキル	プレゼンテーション	テクニカルスキル	マーケティング
交渉力	セルフマネジメント	トップマネジメント	スキル以外の要素	社会人基礎力	行動力	汎用性はあるのか？	業務遂行	種類
健康・体力	経験	人間性	経済産業省	アクション	シンキング	PDCA	失敗を恐れ ない	短期と長期の 目標設定
道徳心	スキル以外の 要素	センス	応用は？	社会人基礎力	チームワーク	先を読む	行動力	Start with Why
知性	運	教養	必須スキル	新人	研修	他者の力	継続力	計画の精度

- ▶ まず中央のマスに一番達成したいことを書き込む。
- ▶ 次に、その周りの3×3マスの中央に、その目標に必要な要素を書き込む。
- ▶ 更に、そのマスの周りにその要素へのアプローチの方法を考える。

(プロ野球選手・大谷翔平が高校1年生の時に作成したマンダラチャートを引用)

魅力発信のためのマンダラチャート

少子化対策	自殺者の減少	がんの定期健診のよびかけ	県内出身者が長野で働けるようにする	県外出身者に長野に来てもらう	各地方への良好な交通網の整備	長野・松本間の不仲	超高齢化社会	松本ー上田間のアクセスの悪さ
社会保障の充実	長野県の人口を増やす	他県からの1ターン	とりあえず来てもらう	住んでもらう	移住支援	少子化	現状の長野県の課題の解決	南信の自治体の多さ
子育て支援	妊婦への理解	育休の充実	魅力を伝える	積極的な地域おこし	長野県にしかない利点の発見	観光消費額の減少	外国人旅行者数の減少	高い空き家率
善光寺	松本城	軽井沢	長野県の魅力を 全国に発信したい！			縁の薄い南信地域への理解	地元・上田市を見直す	この1年間で中信をマスターする
上田城	観光に来てもらう	諏訪湖				北信地域へ幅広く足を運ぶ	自分がもっと長野県について詳しくなる	東信地域へのさらなる探求
上高地	ハヶ岳	美ヶ原				長野県全体を俯瞰	各種ランキングを眺める	各地の伝統や文化、食なども調べる
スキー	涼しい	人が温かい	自然の豊かさ	長寿	工業	友達を大切に	一期一会の精神	SNSで拡散
教育県	今長野県がどう思われているかを知る	野菜	健康	長野県の長所を発見してみる	都心へのアクセスの良さ	立場を確立する	声を届けられるような影響力を持つ	普段からアクティブに
虫たべがち	老人が元気	山	冷涼な気候	世界からの人気	食文化	信頼	実績	発信する機会を設ける

課題を整理すると...

- ▶ まずは自分が長野県をよく知る。
(長野県の課題をもっと把握するため)
- ▶ 少子化、高齢化が顕著
- ▶ 県内の移動の不便さ
- ▶ 長野市・松本市の不仲
- ▶ もっと多くの県民に郷土愛を持ってもらう
- ▶ 一部町村の過疎化の進行



▲大町山岳博物館(大町市)

などなど...一例に過ぎない。



どのように解決すればよいか？

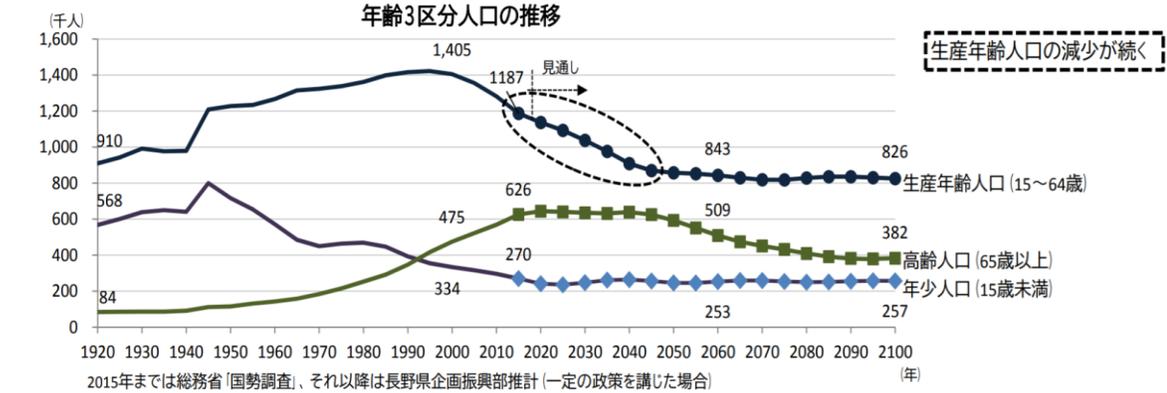
①先述の課題

先ほどの課題に対して

- ▶ まずは自分が長野県をよく知る → 関わりの薄い南信などにも足を運ぶ
- ▶ 少子化、高齢化が顕著 → 子育て事業や育休制度を充実させる
- ▶ 県内の移動の不便さ → バスや鉄道の増線、少なくとも増便
- ▶ 長野市・松本市の不仲 → 地域交流などをもっと盛んに行う
- ▶ もっと多くの県民に郷土愛を持ってもらう → 長野県の魅力を伝える
- ▶ 一部町村の過疎化の進行 → 里帰りや地方移住の奨励

などなど... ほかにも課題はあるし、解決方法はたくさんある。

- 生産年齢人口の減少が続く。
- 高齢人口の割合（高齢化率）は全国を上回っており、30%に達している。



①少子化、高齡化の深刻化

- ▶ 2021年の県内の年少人口は12.0%、老年人口は32.2%。
(2000年当時は年少人口は15.1%、老年人口は21.5%)
- ▶ この20年余りの間で少子化及び高齡化が顕著に現れている。
- ▶ 自治体には子育て事業や出産支援を、企業には産休(産前・産後休業)や育休(育児休業)の拡充を徹底してもらい、出産を理由に退職する女性を可能な限り減らしていくべき。それとともに、子どもを産みたい人が遠慮することなく子どもを産み、長野県が少子化から脱却し、持続可能な社会を形成していくことが求められている。
- ▶ 現在のままでは到底持続可能な社会は築けない。

②県内の移動の不便さ

上田⇄松本	費用	時間
電車	1,570円	1時間40分
バス	1,500円	1時間30分

- ▶ 例えば、一上田市民の意見として、松本へのアクセスがあまり良好ではない。
- ▶ 交通手段はあるものの、鉄道を使うと乗り換えが必須。バスを使うと料金が高い。三才山トンネルが無料化されたが、バス運賃の改定はなされなかった。
- ▶ いずれにせよ、車がある前提の交通網の整備状況であることは若干否めない。
(公共交通の便数、路線、値段、などなどの面において)
- ▶ 今から鉄道路線の新規敷設を計画することは現実的ではないが、バス路線の増設や、電車の本数の増便などは比較的小さい努力で行うことができると思う。
- ▶ **自治体や公共交通を運営する企業が客の交通のニーズを把握し、移動に困っている人を今よりもできる限り少なくしてほしい。**

③長野市、松本市の不仲

- ▶ 事の発端は、1871年に長野県(現在の東北信)と筑摩県(現在の中南信、岐阜県の一部)が合併したところまでさかのぼる。
- ▶ 筑摩県庁が原因不明の火事により焼失し、長野県と筑摩県が合併されることになったが、それを拒んだ旧筑摩県民が、松本に県庁を移そうだとか、長野県を二つに分けようという声を上げた。不仲の裏にはその経緯が隠されている。
- ▶ もう150年前の事件である。長野県に所属することを心から厭っている旧筑摩県側の人々はもうほとんどいないと思われる。
- ▶ **→これからは長野市と松本市の活発的な交流を図り、今まで以上に連携の取れた都市圏を形成していくべきである。**

④もっと県民に郷土愛を持ってもらおう

- ▶ ご存じの通り、長野県は観光資源も豊かで、空気も澄んでおり、自然豊かで、温厚な人が多く、とても居心地の良い場所である。
- ▶ しかし、ありふれている充実だからこそ、長野県の魅力にあまり気づけていない県民が多い。
- ▶ 県外に出てしまった県民に対しても、改めて長野県の良さを感じさせるようなイベントやテレビ番組の放映、情報の発信をすることで、「信州にまた帰ってきたいな」と思わせたい。
- ▶ 生まれ育った地を改めて違う視点から見直させることで、今までよりももっと彼らに長野県のことを好きにさせることができると思う。
- ▶ **「誰にでも居場所がある県」を目指していこう！**



どのように解決すればよいか？

②それ以外の諸課題に対して...

まずは、SDGsの浸透を図ろう

- ▶ 地域の課題の解決には、このようなSDGsを用いた手法を使う手もある。
- ▶ しかし、2020年12月に行われた「SDGsという言葉聞いたことがあるか」という質問に対して、「ある」と答えた人は45.6%。対象を長野県のみ絞るとわずかに約33%。まだSDGsが浸透しているとはいえない現状。
- ▶ とりあえずSDGsという言葉覚えてもらおう。
- ▶ そして、SDGsには17のターゲットがあることを図とともに示し、私たちができそうな身の回りのことから、

何ができるか考えてみる姿勢を広めよう！

SDGs的思考方

- ▶ 更にSDGsには169の達成基準、232の指標がある。
- ▶ 17のターゲットを知ってもらった後は、それを取り巻く169のターゲット、及びそれらの解決方法を、コミュニティを作って模索していこう
- ▶ 一人ではできることは限られてきてしまうが、何人、何十人かで寄り集まればよい案も出せて、活動が活発になる。
- ▶ そのような活動の機会の場を、地域や企業の方に作っていただき、全員で一丸となっていて取り組んでいこう

ESDについて

- ▶ そのようなSDGs的思考方ができる人材を育成するための教育を、ESDという (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育)。

私が行っていることとして...

- ▶ ESDを行なっていくため、大学にてESDを行なっていくための有志を募り、今年度から新規の学生サークルを立ち上げた。(現在20名)
- ▶ コロナ禍による影響であまり自由に活動できていないが、本来は各種方面へのボランティアを行なったり、農業体験などを行なったりして、自らの手でSDGs達成への糸口を見つけていくための活動をしていく予定。
- ▶ 「誰一人取り残さない」の精神を忘れず、救助を必要としている人を助けるのはもちろんのこと、サークルメンバーも全員で活動！

まとめ

- ▶ SDGsを達成するためには、世界規模から始めずに、まずは身の回りから。
- ▶ 更にSDGsを始める前に、人々に浸透させよう！
- ▶ 何事も目的を持ってから、課題を発見してから。計画的に行っていこう。

- ▶ 私たち10代だけではSDGsを達成することは難しい。そのために、企業や自治体、地域力を借りて、**誰一人取り残すことなく**、全員で活動していこう！

▶ 一人の力では何も解決できない。
みんなとSDGs！

参考文献

- ▶ <https://chubu-sdgs.com/sdgslogo-tukaikata/>
- ▶ <http://buycott.me/sdgs/8-decent-work-and-economic-growth/>
- ▶ https://sdgs-support.or.jp/journal/goal_09/
- ▶ https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/
- ▶ <https://biz-pla.com/mandara/>
- ▶ https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/shisaku/documents/sdgs_plan_2_2021-2023.pdf
- ▶ <https://tokei.pref.nagano.lg.jp/statistics/18841.html>
- ▶ https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogo_keikaku/documents/zyokyo.pdf
- ▶ <http://www.kaso-net.or.jp/publics/index/47/>
- ▶ <https://www.pref.nagano.lg.jp/keieishien/sdgs.html>

ご清聴ありがとうございました。